



撮影:韓国岳山頂(平成21年6月11日)

## ミヤマキリシマ

新燃岳の噴火から2年が過ぎ、枯れ枝の間から伸びた枝に、たくさんの花芽をつけています。

ミヤマキリシマは霧島、阿蘇、雲仙など九州の火山に生えるツツジの1種です。霧島では、火山活動の影響を強く受けているところや山々の稜線など、環境が厳しく他の植物が育ちにくいところに大群落をつくっています。

えびの高原では例年硫黄山周辺が5月下旬、つじヶ丘や韓国岳の山頂周辺は6月上旬ごろに花の盛りを迎えます。

平成23年の新燃岳噴火以降、昨年7月15日に入山規制が縮小されるまで、韓国岳への登山はできませんでした。今年は3年ぶりに韓国岳のミヤマキリシマを見ることができそうですのでとても楽しみです。

鹿児島県霧島市高千穂河原の中岳中腹探勝路はえびの高原と違い、新燃岳の噴石が厚く降り積もりミヤマキリシマも被害を受けた場所です。枯れてしまうかと思いきや、噴火から2年が過ぎ、枯れ枝の間から旺盛に枝を伸ばし、たくさんの花芽をつけているのを見ることができました。火山に生きるミヤマキリシマのたくましい姿です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ミヤマキリシマ  
*Rhododendron Kiusianum*

ツツジ科ツツジ属